

※今月のみ受注の書目です。

民法／金融法

共有の理論の論点と解釈

(2025年10月下旬刊行予定)

平野裕之 (日本大学大学院法務研究科教授) [著]

A5判並製 / 416頁 税込予価 4,180円 ISBN978-4-7664-3074-5 C3032

👉 ココに注目!

- ・ 現在の共有制度のすべてを徹底的に整理・解説。
- ・ 特に企業法務、不動産法務に携わる読者にとって非常に有益な一冊。

共有は「迷宮」と評されるほど複雑。本書は、1つの所有権が分裂せず共同帰属するという「共有権」を提唱しながら、共有の理論を根本的に再構築・再整理。通常の共有から相続、区分所有まですべての共有を徹底考察!

対象 不動産法務・金融法務担当者・実務家 / (民法、特に物権法などの) 研究者

類書 平野裕之『新債権法の論点と解釈 [第2版]』(慶應義塾大学出版会)

【営業部からのおすすめポイント】

平野裕之教授の『論点と解釈』シリーズは、民法の重要論点を中心に、判例・通説をふまえながら、学説を整理し再検討するシリーズで、これまでに4点刊行し実務家にも好評を博しています。本書は、民法の難題であり、実務上争いとなることも多い「共有」を徹底的に整理。共有の意義、法的構成、持分権の放棄や譲渡、共有物の使用、変更、管理、処分…などの基本的な問題はもちろん、組合共有、入会権、親族・相続関連の共有、互有、区分所有建物の共用部分の共有、所在不明共有者、所有権以外の準共有まですべてを扱う必携の解説書! (吉川)

👉 主要目次、注文書、著者既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 はじめに

第1編 総論・通常共有論

- 第1章 総論的考察——共有の意義および種類
- 第2章 共有および持分の法的構成
- 第3章 共有者の内部関係1——共有物の使用(利用)
- 第4章 共有者の内部関係2——共有物の変更・処分
- 第5章 共有者の内部関係3——共有物の管理
- 第6章 共有者の内部関係4——共有物管理者制度
- 第7章 共有物の負担・収益
- 第8章 共有者間における持分権の主張
- 第9章 共有と第三者(対外的主張)
- 第10章 共有関係の解消(共有物の分割)
- 第11章 所在等不明共有者がいる不動産持分の取得・譲渡

第2編 特殊な共有

- 第12章 特殊な共有1——団体的帰属
- 第13章 特殊な共有2——入会
- 第14章 特殊な共有3——親族・相続
- 第15章 特殊な共有4——互有(区分所有建物を除く)
- 第16章 特殊な共有5——区分所有建物の共用部分の共有

第3編 所有権以外の共有論

- 第17章 準共有(所有権以外の共有)

結章 おわりに

参考文献

物権法の教科書／その他専門書、判例解説など／2021年改正に関連する文献



ご注文はFAXで! 03-3451-3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		平野裕之 著		
		共有の理論の論点と解釈 ISBN978-4-7664-3074-5 C3032	4,180円	★★★★

★1つで「500部」を表します

著者既刊(ぜひ併せてご注文ください!)

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
返品条件付注文品		平野裕之 著	
		保証・人的担保の論点と解釈 ISBN978-4-7664-2939-8 C3032	3,520円